

# 女性が安心して働ける薬局作り

○巽清<sup>1</sup> 山崎裕己<sup>2</sup> 中井佑子<sup>3</sup> 池浦奈穂<sup>4</sup>  
(1(株)関西メディコ、2サン薬局天理中央店、3天理東店、4王寺駅前店)

## 目的

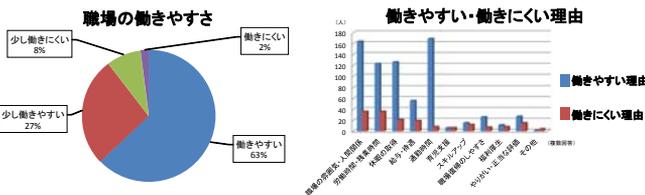
有能な女性スタッフの流出を防ぐにはどうしたら良いのか？結婚や出産などを機に退職する女性スタッフは多い。女性スタッフが働き続けやすい薬局を作ることによって優秀な人材の流出を防ぎ、雇用確保にも繋がると考え調査した。

## 調査方法

当社全55店舗の女性スタッフを対象に無記名アンケート方式で調査を行った。薬剤師146名、事務107名から回答を得た。(正社員、短時間制社員、パート含む)

## 結果

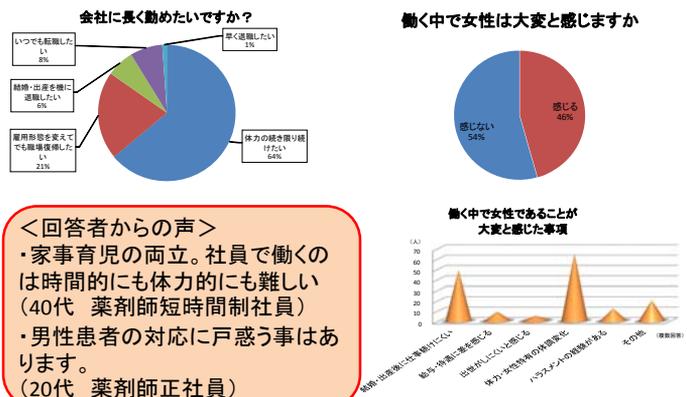
### 現在の職場の働きやすさ調査



#### <回答者からの声>

- ・雇用形態の変更が可能で有給取得しやすく働きやすい。(30代 薬剤師パート)
- ・少人数の店は急用が出来ても休めない。(40代 事務正社員)
- ・会社に対してはパートにも意見を聞き働きやすい職場作りへの取り組みを考えて下さっていることは大変感謝している。(40代 事務パート)

### 女性スタッフの悩み調査



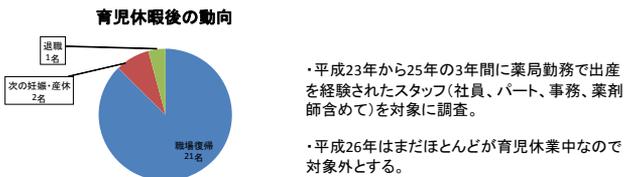
#### <回答者からの声>

- ・家事育児の両立。社員で働くのは時間的にも体力的にも難しい(40代 薬剤師短時間制社員)
- ・男性患者の対応に戸惑う事があります。(20代 薬剤師正社員)

現在の職場の働きやすさについて調査を行い451件の回答を得られた(複数回答)。「働きやすい」、「少し働きやすい」と回答する人は全体の90%にあたり、主な理由が「職場の雰囲気・人間関係」、「通勤時間」が挙げられた。働きにくい主な理由としても「職場の雰囲気・人間関係」、「労働時間・残業」などが挙げられていた。

今の会社に長く勤めたいか調査を行い263件の回答を得られた(複数回答)。85%が今の会社に「体力の続く限り勤めたい」又は「雇用形態を変えても職場復帰したい」と回答。しかし46%が働く中で女性は大変だと感じていた。「体力・女性特有の体調変化」、「結婚・出産後に仕事を続けにくい」などが主な理由だった。

### 育児休暇後の動向調査

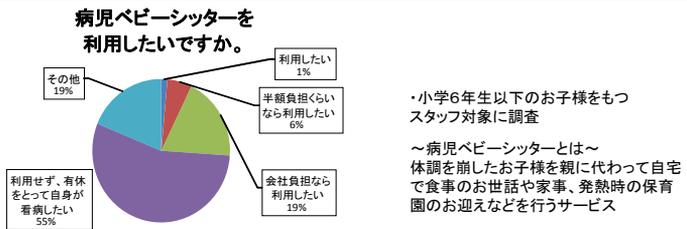


#### <回答者からの声>

- ・産後一年半休ませてもらったので自分としては満足のいく期間だったと思う。(30代 薬剤師短時間制社員)
- ・復帰する際に復帰しやすい雰囲気、研修があればいいのではないかと思います。(20代 事務パート)

育児休暇後の動向について調査を行った。当社では、平成23年から25年の3年間に薬局勤務で出産を経験されたスタッフ(社員、パート、事務、薬剤師含めて)が24名いた。うち21名が職場復帰。2名が、育児休業延長中(当社では育児休業が3年延長可能)に第2子妊娠、そのまま次の産休に。1名が退職(出産後、ご家庭の事情で他府県へ引っ越し)。3年間に出産を経験された方でその後退職された方が1名で、他すべて現在も仕事を続けている。

### 病児ベビーシッター導入検討調査



#### <回答者からの声>

- ・自分がどうしても休めないなら他人やシッターさんに頼むより身内がよく知った知人に頼みたい。(30代 薬剤師短時間制社員)
- ・家に来てもらうのは不安。病児保育ルームのように自宅外でみてもらいたい。(40代 薬剤師パート)

病児ベビーシッターの導入について調査を行った。病児ベビーシッターの利用について小学6年生以下のお子様をもつスタッフ対象に調査を行い69名から回答を得られた。「利用せず有給をとって自身が看病したい」と回答する人が全体の55%であった。「会社が半額・全額負担してくれるなら利用したい」と回答する人は全体の25%であった。

## 考察

他にも「育児や介護、不妊治療、体調不良などで急に休みたい時に休みづらい」「女性だけの職場だと患者対応に困る時があるので男性がほしい」「家事や育児、帰宅時の危険性など考え遅い時間の勤務は大変」との意見も挙げられた。周囲には相談しにくい悩みや不安を抱えている女性スタッフがいることが分かる。当社の多くの女性スタッフは結婚や出産をしても会社や職場は変えたくないと調査結果から分かる。雇用形態の変更や産前産後休暇・育児休暇の体制が重要になってくるが、それを取得・相談しやすい環境、全社員に周知していく事も重要となってくる事が考えられる。女性スタッフに対する当社の産前産後休暇・育児休暇の完璧な内容周知率は低かったので重要な課題だと考えられる。また日常業務の悩みや不安内容を気軽に相談できる体制作りや急な休みでもカバー出来るような応援体制作りを今以上に進めていく事で、女性スタッフがもっと安心して働ける職場になると示唆出来た。